

平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 4 日

上場会社名 株式会社中央経済社 上場取引所 大
 コード番号 9476 URL <http://www.chuokeizai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 津原 均 (TEL) 03 (3293) 3371
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 5 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 9 月期第 3 四半期	2,209	△10.1	225	52.6	246	45.4	129	241.8
22 年 9 月期第 3 四半期	2,457	△ 8.7	147	△60.2	169	△57.2	37	△83.4

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	34 75	— —
22 年 9 月期第 3 四半期	10 17	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	4,833	3,809	78.8	1,020 50
22 年 9 月期	4,739	3,734	78.6	998 75

(参考)自己資本 23 年 9 月期第 3 四半期 3,807 百万円 22 年 9 月期 3,726 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 9 月期	— —	0 00	— —	13 00	13 00
23 年 9 月期	— —	0 00	— —		
23 年 9 月期(予想)				13 00	13 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成 23 年 9 月期の連結業績予想 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,220	△1.0	215	25.0	249	23.9	149	192.2	39 94

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.**「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

- ② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年9月期3Q	4,398,464株	22年9月期	4,398,464株
② 期末自己株式数	667,625株	22年9月期	667,625株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3,730,839株	22年9月期3Q	3,731,018株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注意事項)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあったものが東日本大震災の甚大な被害により企業の生産活動が停滞し、また自粛ムードの高まりにより個人消費が冷え込むなど、急速に悪化いたしました。

当社グループの属する出版業界は、一部の書籍・雑誌が話題を集め、好成績を収めました。全体としては前年を下回る状況が続いております。

このような事業環境の下、当社グループは、今期継続して、編集・販売等の全社員が連携したきめ細かな企画開発・本作りの活動を行っております。また、不良在庫が増加しないように適正刷部数の製作、在庫管理の徹底も継続して行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,209百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益は225百万円（前年同期比52.6%増）、経常利益は246百万円（前年同期比45.4%増）、四半期純利益は129百万円（前年同期比241.8%増）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

（出版事業）

今年は、平成23年度税制改正が6月までずれ込み、会計・税務・法律の各分野で大きな制度改正がなかったため、関連書籍が出版できず、出版点数と売上高は前年を少し下回りました。しかし、製作コスト低減や経費の見直しを徹底したことにより、営業利益が前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,092百万円、営業利益は198百万円となりました。

（出版付帯事業）

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、近年広告出稿量の減少、中でも紙媒体への広告減少が続き、その現状を打開できない状況にあります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は117百万円、営業利益は7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少133百万円があったものの、現金及び預金並びに金銭の信託の増加160百万円、土地取得による増加65百万円があったことによるものです。

負債は、1,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の減少34百万円があったものの、未払法人税等の増加41百万円、退職給付引当金の増加12百万円があったことによるものです。

純資産は、3,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加81百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、2,544百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は269百万円となりました。これは主に、賞与引当金の減少34百万円、負ののれん発生益15百万円があったものの、売上債権の減少133百万円、税金等調整前四半期純利益226百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は44百万円となりました。これは主に、定期預金の減少17百万円、保険積立金の解約による収入27百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出66百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は48百万円となりました。これは配当金の支払額48百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成22年11月9日に公表いたしました「平成22年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,922,414	2,422,104
金銭の信託	659,783	—
受取手形及び売掛金	805,252	939,149
商品及び製品	474,643	456,206
仕掛品	52,585	57,593
原材料及び貯蔵品	11,507	9,921
その他	65,566	73,454
貸倒引当金	△2,301	△4,190
流動資産合計	3,989,451	3,954,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	69,592	73,531
土地	441,551	376,551
その他（純額）	8,703	10,111
有形固定資産合計	519,846	460,194
無形固定資産	36,966	23,507
投資その他の資産		
投資有価証券	139,002	138,996
繰延税金資産	84,444	79,639
事業保険積立金	44,985	69,435
その他	21,145	18,190
貸倒引当金	△2,761	△4,654
投資その他の資産合計	286,815	301,606
固定資産合計	843,628	785,308
資産合計	4,833,079	4,739,547

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,550	516,229
未払法人税等	44,535	2,864
返品調整引当金	45,498	57,228
賞与引当金	15,080	49,985
その他	184,652	173,962
流動負債合計	809,316	800,269
固定負債		
退職給付引当金	214,180	202,010
負ののれん	577	2,310
固定負債合計	214,758	204,321
負債合計	1,024,075	1,004,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,519,969	3,438,828
自己株式	△299,620	△299,620
株主資本合計	3,807,332	3,726,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	—
評価・換算差額等合計	4	—
少数株主持分	1,668	8,766
純資産合計	3,809,004	3,734,957
負債純資産合計	4,833,079	4,739,547

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,457,816	2,209,598
売上原価	1,531,604	1,296,367
売上総利益	926,211	913,231
返品調整引当金戻入額	10,948	11,730
差引売上総利益	937,159	924,961
販売費及び一般管理費	789,190	699,216
営業利益	147,969	225,744
営業外収益		
受取利息	4,122	2,764
受取配当金	3,778	3,122
受取地代家賃	5,419	6,604
負ののれん償却額	3,465	1,732
投資有価証券評価損戻入益	—	1
その他	5,327	6,038
営業外収益合計	22,114	20,263
営業外費用		
投資有価証券評価損	690	—
その他	160	0
営業外費用合計	850	0
経常利益	169,232	246,008
特別利益		
貸倒引当金戻入額	826	2,615
投資有価証券売却益	13	—
賞与引当金戻入額	—	150
負ののれん発生益	—	15,467
特別利益合計	839	18,233
特別損失		
投資有価証券評価損	51,565	—
災害による損失	—	37,634
持分変動損失	—	77
特別損失合計	51,565	37,711
税金等調整前四半期純利益	118,507	226,530
法人税、住民税及び事業税	57,439	86,254
法人税等調整額	18,495	2,341
法人税等合計	75,934	88,595
少数株主損益調整前四半期純利益	—	137,934
少数株主利益	4,644	8,293
四半期純利益	37,928	129,641

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	118,507	226,530
減価償却費	6,196	8,606
負ののれん償却額	△3,465	△1,732
負ののれん発生益	—	△15,467
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,981	△3,781
賞与引当金の増減額（△は減少）	△34,172	△34,905
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,950	12,170
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△10,948	△11,730
投資有価証券売却損益（△は益）	△13	—
投資有価証券評価損益（△は益）	52,255	△1
受取利息及び受取配当金	△7,901	△5,886
売上債権の増減額（△は増加）	63,260	133,896
たな卸資産の増減額（△は増加）	15,795	△15,014
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,438	3,321
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,802	△767
破産更生債権等の増減額（△は増加）	6,736	1,892
その他	3,795	9,005
小計	199,775	306,134
利息及び配当金の受取額	7,352	5,897
法人税等の支払額	△149,555	△42,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,572	269,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	217,400	17,400
有形固定資産の取得による支出	△4,733	△66,762
無形固定資産の取得による支出	—	△14,955
投資有価証券の売却による収入	73	—
保険積立金の積立による支出	△4,557	△3,302
保険積立金の解約による収入	—	27,752
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	3,058	1,050
関係会社株式の取得による支出	—	△0
その他	84	△4,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	211,324	△44,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△172	—
配当金の支払額	△48,417	△48,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,589	△48,194
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	220,307	177,492
現金及び現金同等物の期首残高	2,209,166	2,367,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,429,473	2,544,797

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報**【事業の種類別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

	出版事業 (千円)	出版以外の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,317,216	140,600	2,457,816	—	2,457,816
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	624	88,985	89,609	△89,609	—
計	2,317,841	229,585	2,547,426	△89,609	2,457,816
営業利益	117,483	3,215	120,698	27,270	147,969

(注)1. 当社の事業区分は、事業の種類の種類性を考慮して、出版事業と出版以外の事業とに区分しております。

2. 各事業の主な製品・サービス

(1) 出版事業……………書籍・雑誌の出版及び販売

(2) 出版以外の事業……雑誌広告請負代理等、商品カタログ、販売促進用パンフレットの企画・制作、出版物の商品管理、不動産管理・賃貸業務等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する支店又は連結子会社がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

国内売上のためのため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日）

当社グループは、当社及び子会社2社で構成され、主に企業経営全般に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。従来、事業の種類別セグメントとして出版事業と出版以外の事業に分けて開示してきました。しかし、広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見て一体のものであるといえます。したがって、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

（追加情報）

第1 四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。